

自己点検・評価報告書

(令和2年度)

令和3年5月報告

中部美容専門学校

名古屋校・岡崎校

1. (1) 中部美容専門学校教育理念

『美しい人を、つくる。美しい人に、なる。』

- ◎「心が美しくなければ、人を美しくすることはできない」を基本に、豊かな人間の育成を目指す。
- ◎「人を美しくすることは、人を幸せにすること」を基本に、豊かな感性と確かな技術で社会に貢献する。
- ◎「美しさは、人とともに時とともに変化する」を基本に、常に時代が求める美しさを考える。

(2) 中部美容専門学校学則

第 1 章 総 則

(目 的)

第3条 本校は、教育基本法に則り学校教育法に従い、美容に関する知識並びに技術を教授し、併せて美容師としての教養・品格・社会的道徳を涵養し、新時代に即応する美容師の養成に関する教育を施す事を目的とする。

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
a 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
b 学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
c 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
d 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
e 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

<現状>

a, d: 本校の教育理念・教育方針・アドミッションポリシーはホームページ、学生募集パンフレット等で開示している。新入生に対しては教室に掲示し周知させている。また、学生心得に記載し、新入生オリエンテーションで周知している。

b: 単に国家資格を取らせるだけではなく、トータルスタディー科は美容に関わる全ての技術習得による美容業界に求められる人材を育成し、新設された午前ヘアスタイリスト科はヘアサロンが求める技術を中心に教育し、職業観の醸成に力を入れている。

c, e: 少子高齢化・コロナ禍における「新しい日常」を視野に入れながら、美容師としての高い志を持った学生や、美容業界に支持される学校であるべく、教育の質の向上に注力している。

<課題、今後の方策、特記事項>

教育の質の向上に、教職員の質の向上は不可欠である。専任教員は学級・学年運営・学習指導・生活指導に注力し、国家試験以外の専門スキルについても、専任教員が教育・指導するための資格を取得し、現役活躍しているプロの力を十分に活用する仕組みの構築を始め、整備している。

また教職員全体で今の中学校・高等学校を卒業した生徒への適切な対応をする心理学コミュニケーションセミナーを定期的に行っている。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
a 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
b 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
c 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	4 3 2 1
d 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4 3 2 1
e 教務・財務等の組織整備等、意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
f 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
g 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
h 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

<現状>

a～c: 理事会で意思決定した法人の運営方針、事業計画に基づき、中長期計画及び事業計画に基づいて学校運営を実施している。また、学校運営を行うための諸規程や諸規則については令和2年度より逐次弁護士による精査を整備しており、適切に運営している。

d: 入社時に就業規則を教職員全員に配布・所持させ、就業規則に照らし合わせて判断している。

e: 教務については学校運営者会議、財務については学校・財務部会で決定した内容を適時理事会へ提案並びに報告している。

f: 業界においては愛知県美容業生活衛生同業組合立の学校として厳格に整備されている。地域社会について、近隣小学校の社会見学や中学校の職場体験等を受け入れ、地域の方に対し、指定緊急避難場所及び指定避難所に指定されている事を伝えた。地域社会との親交を深め、要望に応じて適切に対応している。また、新入生オリエンテーションでの周知及び学生心得に記載している。

g: シラバス等は令和元年度よりホームページ上で公開している。保護者に対しては授業参観(保護者感謝デー)・保護者案内等を定期的実施している。

h: 求人支援システム・進学アクセスオンライン(募集システム)・交通系 IC カード manaca 学生証と連動した登退校システムをデータ化している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・就業規則は労使間で協議し、令和2年4月に内容変更し、労働基準監督署に届出した。
- ・求人支援システムは平成29年度から求人票のペーパーレス化並びに自由に閲覧・活用できるシステムを導入した。募集システムは個人情報保護を目的とし高校訪問活動や入学募集を完全システム化し、登退校システムは今までのタイムカード管理からカードリーダーによるデータ管理に移行するため平成30年度より導入している。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	3	2	1
e 関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
f 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
g 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
h 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4	3	2	1
i 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
j 人材育成目標に向け授業を行う事ができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
k 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか	4	3	2	1
l 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
m 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

<現状>

a～c：各教科の到達目標はシラバスに示し授業を進めている。内規も平成22年度から整備済みであり平成28年度からシラバス、成績評価、単位認定等を学校運営マニュアルに記載し、学生心得で学生に告知している。

d・g：令和元年度から学校関係者評価を実施し、委員の意見を教育に反映している。

e：現場美容師によるホイルワークの実習や4日間に及ぶインターンシップ等、体系的に位置付けている。また、夏季休暇中に自発的なサロン見学週間を1年次に設定し、職場環境を知る機会も設けている。

f：教員の授業・指導力を高めるため、学生による授業評価(卒業前)アンケートを行い、結果を基に授業改善のための職員研修を行っている。また、職員に対しアンケート結果の公表をし、各部署長による指導及びフォローアップをしている。

h：明確にしており、学生心得に記載し学生に開示している。

i～k：全てにおいて随時改善している。

l, m：コロナ禍においても教員研修は計画的に行っている。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・専任教員による学生への資格検定指導を奨励し、各資格検定の指導者資格を取得している。
- ・i～kについては、安定的に実施できる専任教員の補充を推進する。
- ・l, mについては愛知県美容業生活衛生同業組合の技術・セミナー・研修会も実施している。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
b 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
c 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
e 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

<現状>

a～c: 愛知県美容業生活衛生同業組合監督のもと、ミスマッチや離職率の低減をしている。資格取得(国家試験や美容系資格検定)の向上、退学率低減の仕組みはできており成果も出している。

d, e: 毎年ハガキによる就職アンケートを実施し、卒業生の動向把握を就職担当者によるサロン訪問で活用している。愛知県美容業生活衛生同業組合によるキャリア形成活動は常に行っている。

<課題、今後の方策、特記事項>

- 卒業生の活躍や評価、教育活動の改善のための活用や情報共有をするため、アンケートを取り一覧表等記録の上、学内公表し、問題発生への対応をしている。令和元年度より、活躍している卒業生の情報を収集し職員会議で報告している。

- 同窓会、後援会についての議論・提案・発足を加速させる。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
d 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
e 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
f 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
g 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
h 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
i 在校生への留学支援体制はあるか	4	3	2	1

<現状>

a: 就職相談室及び就職担当と各担任が連携して支援する体制を整備している。

b: 担任・学年主任が中心に行うが、必要であれば学校全体で対応する整備をしている。

c: 経済支援奨学金を整備している。

d, f: 担任が情報共有し、管理・支援をしている。インフルエンザ集団接種を実施している。

e: 愛知県美容業生活衛生同業組合の支援のもと取り組みを行っている。美容学生として積極的にボランティア活動への参加をしている。

g: コロナ禍により保護者に対し、速やかに連絡できるツールを用意し、状況に合わせて随時情報提供並びに学生支援の周知案内を送付している。

h：求人紹介・資格取得（国試再受験支援）・就職相談・個別相談等を行っている。

i：仕組み（就職関係の留学制度紹介）があり、令和 2 年度はコロナ禍のため 0 名だが、前年度は 1 名利用した。

<課題、今後の方策、特記事項>

・問題発見・学生対応のスピード、学生・保護者との人間関係の構築等、担任力の強化については学年主任・教頭を中心に今後も継続する。

・学生ケアに対し、教頭・校長の対応だけではなく、心理カウンセラーを招聘し、スクールカウンセラーの育成を始めている。

・コロナ禍の対応を踏まえ、令和 2 年度より危機管理チームを発足し対応している。

・コロナ禍を踏まえた学生の健康管理並びに学内生活において、教職員全体で把握できる体制を整えて対応している。

・学内での課外授業は時間的な制約等があるため、平成 19 年度からクリエイティブワークを実施。令和 2 年度も新型コロナウイルス感染症対策を万全に 20 サロンの協力を得た。また、インターンシップも例年通り 4 日間実施している。ただし、学生主体の課外活動においては例年であれば随時対応支援しているが令和 2 年度は課外活動をしない様に学生に指導し、その学生へのケアをした。

・令和 2 年度より名古屋校ではミニコンビニを常設。同時に名古屋校・岡崎校共に食品自動販売機、公共価格よりも安い自動販売機の設置の契約を締結した。

・学内の IT 環境整備に合わせ、令和 2 年度より在校生と緊急連絡ツールを導入している。

・仕組みの運用やチェック等は、教員の能力によりバラつきがある。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
b 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
c 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

<現状>

a：名古屋校・岡崎校共に現カリキュラム以上の活動が出来る環境に整備されている。

b：教育体制は十分に整備している。

c：避難訓練実施計画を作成し、災害時の防災訓練を行っている。また、防災マニュアルを作成及び、学校運営マニュアルに記載し、全教職員が把握している。指定避難所に認定されているため、災害時の複数日分の備蓄食料等もストックしている。

<課題、今後の方策、特記事項>

・将来の授業方法の 1 つとして、コロナ禍前よりオンライン授業の導入を視野に入れ取り組んでいたため、4 月以降の休校時もオンライン・オンデマンド授業を適切に実施出来たことにより、年間スケジュール通り行えた事は学生の高い満足度に直結していた。

・コロナ禍のため海外研修のみ、安全を最優先に考え実施を見合わせた。

・防災に対し、常に万全の体制を整えている。名古屋校(美容あいち会館)は指定緊急避難場所及び指定避難所に名古屋市より指定を受けている。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

<現状>

- ・学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規定に沿って適正に行っている。
- ・教育成果は学校案内パンフレット、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
- ・高校や会場で行われるガイダンスにて在学生の状況を高校生に伝えている。
- ・来校型だけでなく Web を活用した視聴型のオープンキャンパスを実施した。
- ・高校教諭に対しては、直接高校訪問を行い卒業生の状況を報告している。
- ・学納金も適性であり、入学前の辞退者についても入学金を除き受け取っていない。

<課題、今後の毅然方策、特記事項>

- ・オープンキャンパス参加者や入学希望者の理由を検証し、関係する会議において報告と改善策の提示を行った。
- ・授業内容の魅力が、より高校生に伝わるようオープンキャンパス内容を改善する必要がある。
- ・令和3年度以降の少子化問題及び美容志願者の減少と、同種他校の競合化対策が最重要課題である。
- ・定員確保は前提とするが、学生の質の向上を意識した募集活動を推進する。
- ・令和2年度の大学入試制度改革を受けて、愛知県専修学校各種学校連合会による入試ガイドラインを参考にした入試制度を見直し、活動する。
- ・SNSにおいては後手に回っていたが、近年の動画・写真の投稿活動により、新たな学校魅力の発信になっている。今後はLINE・Twitter・Instagram以外のSNSの活用も検討する。
- ・Web全般において、外部企業と連携して適切な運用をしている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

<現状>

- ・令和2年度は、新校舎建設の返済を含めた財政健全化を達成する事ができた。
- ・予算執行、監査、及び財務の情報公開については、概ね適正になされている。
- ・支出の抑止については、予算を下回る提案を採用している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・支出は予算内執行をしているが、各事業を見直し支出の削減を要する。
- ・入学者数の増加を重要課題として活動する。
- ・財務情報は総代会資料及び機関誌「あいび新聞」で公開している。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
d 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

<現状>

a～c: 専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営をしている。個人情報については入学希望者の個人情報を取扱う部署と人間を限定し、持ち出す場合も誰が持ち出したか追跡できるシステムに環境を整備した。但し、在校生の個人情報については誰でも持ち出せる環境にあるため、充分ではない。自己評価の実施と問題点の改善は常に行っている。

d: 自己評価結果を令和元年度よりホームページ上で公開している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・ソーシャルネットワークポリシー等、新たな個人情報等を保護するための環境整備を整えて学内外に周知している。

- ・令和2年度より学内のガバナンスを明確化し、職務・権限を適切に行うために環境を整備した。

- ・令和2年10月より学校顧問弁護士を置き、現行の学則を始め、全ての文書及び危機管理、法教育対策を実践する事となった。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	3	2	1
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
c 地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

<現状>

a: 小中学生のキャリア教育推進事業を積極的に受け入れている。

b: 令和2年度はコロナ禍のため実施を見合わせた。令和元年度は瀬戸市観光協会主催の招き猫祭り等にボランティアで参加している。また、募金活動や校舎周辺の清掃活動を積極的に支援・奨励している。

c: 令和3年度は組合主催の美ッザニア及び夏祭りに近隣住民を招待する予定。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・ボランティア活動を奨励しているため、多方面よりボランティアの協力要請がきているが、学生の負担にならない程度に学生のボランティア活動を支援したい。

(11) 国際交流

- ・現状、留学生の受け入れは学校規定の留学生受け入れマニュアルに沿って行っている。今後は留学生受け入れ後の支援も含め弾力的に活動する。